

# 踏み跡 <My Mountains>

越後	大白川から浅草岳と守門岳	No.226
----	--------------	--------

昭和 40 年代に上越の山に入り始め、そこから広がり越後の山に興味を持ち始めた。そして越後駒を始めとしていくつかの山をリストアップした。その中のひとつが浅草岳であり守門岳である。越後の山とは言っても奥只見に座すこれらの山は、東京から出かけて行くのにはかなり厄介な山だった。並行して会津の山への探求も続いていたことから会津・奥只見と見て行くうちにやはりこの山に辿り着いた。山の名前に魅せられたということもあるが、四半世紀の時が流れても「登って見たい」という気持ちに変わりはない。登山に車を使用するようになったことで、この山が現実的なものになってきた。大白川付近を拠点にして、この二つの山をそれぞれ往復するというプランを作った。



平成 4 年 7 月 26 日

17 時 30 分に自宅を出発。今夜中に浅草岳登山口の五味沢まで入っておけば良いので、こんな時刻の出発になった。国道 16 号線を北上して岩槻インターから東北自動車道へ。上河内サービスエリアで夕食と眠気が起きないようにコーヒー。那須塩原インターで下りて塩原温泉・尾頭トンネルと通り慣れた道を会津へ。途中で今晚の睡眠導入剤として缶ビールを一本購入。会津田島で西に入って、真っ暗闇の針生の集落を 22 時 35 分に通過。駒止トンネルを抜けて山口を右折し、南郷村を抜け只見町。田子倉ダム 23 時 30 分。「六十里越は夜間通行止め」という標識があったが構わず行ってみた。トンネルを抜けると新潟県の入広瀬村になる。トンネルの上に目指す浅草岳から鬼が面山への稜線が走っているのだと思うと胸が高鳴る。(ついにここまで来た！！)

平成 4 年 7 月 27 日

大白川を通過する頃に 7 月 27 日になった。

0 時 30 分、ゴール地点の五味沢の駐車場に到着。ここまでの行程は 345.9Km。今宵はだだっ広い駐車場の一角で車中泊。ドライブ疲れと缶ビールとでスムーズに眠りに入ることができた。もう眠る時間はわずかなような気がするが・・・。

空が明るくなってきたため目が覚めてしまったが、時計を見るとまだ 4 時 55 分。座布団をかぶってもうひと眠り。車の中で寝ると四方に窓があり、明るさから逃れるのは難しい。

6 時 45 分起床。駐車場のトイレで顔を洗って完全に覚醒。朝食はニギリメシ・スキヤキ缶詰・キュウリ。天気は申し分なしの晴。さすがに 7 月末、とにかく暑い。身支度をしているだけで汗びっしょりになってしまった。7 時 45 分に出発。

カヘイヨボッチ (嘉平与ボッチ) へ上がる道を見落としてしまったので、林道経由でネズモチ平へ上がるルートをとることにした。おかげで登る自分の背中には常に守門岳があり、立ち止まる度に確認できる。

ロボット雨量計 9 時 12 分。デザート用に桑の実を採ってひと休み。汗だくになってきたので、ニッカーを脱いで短パンに履き替え。

## 踏み跡 <My Mountains>

浅草岳登山口（ネズモチ平）9時50分。沢の水が美味しい。殆どの方はここまで又はこの先の林道終点まで車で入るようだ。五味沢からエッチラオッチラ歩いてくるのは珍しく、私ぐらいのようだ。9時56分出発、桜ゾネの登りに入る。

前岳 11時24分。燧と越後駒・中ノ岳が凄い迫力。浅草岳はもう目の前だ。



浅草岳（1585.5m）11時35分。（左写真上）

眼下に田子倉湖、正面に燧と白根山、右には越後駒、右後ろに守門岳。夢にまで見た奥只見から会津にかけての稜線のパノラマが広がり、圧倒される。（左写真下）

頂上には一等三角点があるが、なぜか二つあった。景色を楽しみながらの昼食はパン・焼肉缶詰・キュウリ・ミルク、それに先程採った桑の実がデザート。

一時間余りの大休止の後12時42分下山開始。下りはカヘイヨボッチを経て五味沢へのルート。

先行のパーティがうるさくて興ざめなので、少し間をあけて

歩くため雪渓で一時間ほど昼寝。

カヘイヨボッチ14時11分。林道終点14時49分、5分ほどの小休止とおやつ（ビスケット）。

先行のうるさいパーティはここに駐車しており、ここから車で下山。こちらは桜ゾネを下り白崩沢

へ下りて美味しい水を楽しんだ。車で入る人が多いせいだろうか、このルートはあまり人が歩いていないらしく歩きながらクモの糸を横切る回数が多い。水場に着く頃には顔がベトベトになってしまった。

五味沢の駐車場に16時30分帰着。一日たっぷりかけての浅草岳往復となった。期待通りの素晴らしさが詰まった山だった。明日の守門岳登頂を目指して今日は音松荘という民宿に泊まることにした。

宿で風呂に入って汗を落とし、Tシャツと網シャツを洗濯。風呂から出て喉が乾いたら、昼間飲んだ美味しい水を思い出してネズモチ平まで水汲みドライブ。

平成4年7月28日

6時45分起床。天気は快晴、昨晚洗濯したシャツは完全に乾いた。

朝食後宿賃（6,250円）を払って、下山後に汗を流したいので風呂に入らせていただくようお願いして出発。関越国際スキー場を抜けて守門岳登山口まで車で移動。

8時11分、登山口では中年登山客7～8名のパーティが出発準備をしていた。こちらも身支度の最終確認をして、8時30分に出発。

稜線上の小さな肩（小鳥帽子）9時30分。目の前の大雲沢を挟んで守門岳と袴腰が良い形で立っている。

昨日登った浅草岳も、そして越後駒も……。眺望は文句なし。小休止にとどめて9時40分に出発。

冷たそうな水が流れる水場で一口飲んでみたら止まらなくなってしまい、又小休止。宿で汲んできた水を捨てて新しい水と入れ替え。最後の登りに入る頃からガスとトンボの群れに包まれ始めた。

山頭火の気分になって一句したためてみた。

とんぼらにかこまれ頂上へ

守門岳頂上（1537.6m）11時15分。昼食と大休止とする。

汗でビショビショの体に風が冷たい。（右写真）

昼食後青雲岳を往復して、12時30分下山開始。

登りで元気をもらった「美味しい水場」で、また水を入れ替えて家に持ち帰る土産に。

駐車場所に14時帰着。音松荘に戻り、入浴して着替え。奥

只見・越後の土産として日本酒を何本か買って15時05分に出発。帰路は17号線経由で小出まで行き、軽食で腹ごし



## 踏 み 跡 <My Mountains>

らえをして関越自動車道へ。

小出インター通過は 16 時 35 分、自宅帰着は 21 時 14 分。

往路は 350km、復路は 320km、新潟県側から入る方が若干近いようだ。しかし、この山には単に近道をするだけではなく、越後と会津・奥只見とつなげて走り抜けることで「日本地図上の位置が理解できる」面白さがある。再びこの山に入る機会ができれば、その時にはかなり不便ではあろうが「会津から越後へ鉄道の旅」も楽しんでみたいと思う。

以上



(上の写真：守門岳からの下りで ～浅草岳を筆頭に奥只見・奥利根に続く稜線～)

(下の写真：浅草岳・守門岳で見た花)